

2月8日 水	2月9日 木	2月10日 金	2月11日 土 [祝]	2月12日 日
コンペティション部門入賞作品上映	特集◆“教育”について	特集◆Yahoo! 短編ドキュメンタリー選	特集◆“教育”について	特集◆“教育”について
10:30 — 入賞作品は2023年1月下旬に公式サイトにて発表されます。作品の総時間によっては、上映開始時刻を遅らせる可能性があります。詳しくは公式サイトをご参照ください。	11:00 — 北のともしび ノイエンガメ強制収容所と プレンプーサー・ダムの子もたち 108分 12:50 —トーク 東志津 伊勢真一	11:00 — FULL SWING 11分 理想の世界 11分 他10分1本と3分3本上映 計50分 11:50 —トーク 山田裕一郎 杉岡太樹 金川雄策	11:00 — 夢みる小学校 91分 12:35 —トーク オオタヴィン	10:00 — 私だけ聴こえる 76分 11:20 —トーク 松井至 手話通訳付き
	特集◆“教育”について	特集◆“教育”について	特集◆“教育”について	特集◆“教育”について
	13:50 — ニジノキセキ —「4.24」の未来へ、七色の架け橋— 80分 15:10 —トーク 趙寿来	13:00 — 教育と愛国 107分 14:50 —トーク 斉加尚代	13:40 — ラ・カチャダ 81分 15:05 —トーク 風吹ジュン 山崎裕	12:30 — 音の行方 107分 14:20 —トーク 野田亮 大友良英 ※上映後、本作出演者による演奏あり
	安田菜津紀◆セクション	金平茂紀◆セクション	特集◆“教育”について	特集◆“教育”について
	16:15 — 東京クルド 103分 18:00 —トーク 安田菜津紀 日向史有	16:00 — ナフリヌイ 98分 17:40 —トーク 金平茂紀	16:00 — スーブとイデオロギー 118分 18:00 —トーク ヤン ヨンヒ 荒井カオル	15:30 — へい！ ティーチャーズ！ 90分 17:00 —トーク ユリア・ヴィシュネヴェッツ オンライン参加 長野智子
18:15 — コンペティション部門 表彰式				
オープニング上映				
是枝裕和◆セクション	諏訪敦彦◆セクション	森達也◆セクション	柄本佑◆セクション	大島新◆セクション
19:15 — ★無料参考上映 NONFIX もうひとつの教育 ～伊那小学校春組の記録～ 47分 ★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。 チケットをお持ちの方から優先入場となります。 — 入れ替え — 20:20 —トーク 是枝裕和	19:00 — 自画像:47KMのおとぎ話 109分 20:50 —トーク 諏訪敦彦 章夢奇 オンライン参加 秋山珠子	18:50 — Blue Island 憂鬱の島 97分 20:30 —トーク 森達也	19:15 — まひるのほし 93分 20:50 —トーク 柄本佑 山崎裕	18:10 — 極私的エロス・恋歌1974 98分 19:50 —トーク 大島新 原一男

座・高円寺

ドキュメンタリー

フェスティバル

14

ZA-KOENJI Documentary Festival

特集◆“教育”について

2月8日水 12日日 タイムテーブル



★無料参考上映

上記の作品に関しては、上映のみ無料にてご覧いただけます(上映後トークは有料です)。入場はトークのチケットをお持ちの方から優先し、満席となった場合は入場をお断りします。

●やむを得ない事情により、プログラム及び来場ゲストが変更になる場合がございます。

●全プログラムとも録画、録音機器、及びPCの会場への持ち込みは禁じられています。

「ゲスト・セクター」

是枝裕和
安田菜津紀
諏訪敦彦
金平茂紀
森達也
柄本佑
大島新

「トークゲスト」

東志津
伊勢真一
趙寿来
日向史有
章夢奇
秋山珠子
山田裕一郎
杉岡太樹
金川雄策
斉加尚代
オオタヴィン
風吹ジュン
ヤン ヨンヒ
荒井カオル
松井至
野田亮
大友良英
ユリア・ヴィシュネヴェッツ
長野智子
原一男

高円寺 冬の劇場25

主催——座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会

共催——(株)ドキュメンタリージャパン／(株)104

提携——NPO法人 劇場創造ネットワーク／座・高円寺

協力——(株)neo P&T

映像提供——テレビマンユニオン

分福

S.A.プロダクション

「ニジノキセキ」製作委員会

東風

山形国際ドキュメンタリー映画祭

Yahoo! JAPAN CREATORS Program

きろくひと

トランスフォーマー

太秦

シグロ

音遊びの会

豊岡劇場

疾走プロダクション

ZA-KOENJI Documentary Festival

ドキュメンタリー

座・高円寺

フェスティバル

特集◆“教育”について

2023年1月21日土 チケット発売開始

前売1回券¥1,500

〈全回日時指定・自由席・販売は上映の前日まで〉

ゲスト・セクション [Pコード:552-694]

特集上映／コンペティション部門入賞作品 [Pコード:552-695]

(当日券は¥1,800になります)

◆コンペティション部門入賞作品は、1枚のチケットで全ての入賞作品・表彰式をご覧いただけます。

◆「無料参考上映」表記のある作品は、無料でご覧いただけます。ただし、上映後のトークイベントは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。トークイベントの際には入替後も上映をご覧になった同じお席での観覧をお願い致します。

◆障がい者手帳をお持ちの方は、座・高円寺チケットボックス(窓口・電話)でご予約頂くと、1割引になります。

ロビーの混雑を避けるために、整理券を配布します。当日の上映分の整理券を下記時間より配布開始を予定しています。

2月8日(9時30分より配布)／2月9日～11日(10時より配布)／2月12日(9時15分より配布)

●新型コロナ・ウイルス感染防止のため、ご来場の皆さまにも、入館時にマスクの着用、検温、手指の消毒のご協力をお願いしております。また、体調のすぐれない方、ご来場をお控えくださいますようお願いいたします。

●ロビーの混雑を極力回避するために、上映開始30分前まではロビーに列を作らないようお願いいたします。

●新型コロナ・ウイルスの感染が拡大してしまった場合、時間の変更や中止などが考えられます。最新の情報についてはHPをご参照ください。

主催・お問い合わせ先

「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」実行委員会

〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-20 和晃ビル1階

(株)ドキュメンタリージャパン内

TEL:03-5570-3551 | FAX:03-5570-3550

Mail:za.koenji.documentary@gmail.com

[公式HP] <http://zkdf.net>

 @zkdf_net



チケット取り扱い

直接購入——セブン-イレブン(発売初日は10:00～)

インターネット購入——チケットぴあ <http://t2.pia.jp/cinema/>

●お求めの際は、Pコードをご利用ください。

座・高円寺チケットボックス | 月曜定休 |

窓口——10:00—19:00

電話予約——03-3223-7300(10:00～18:00)

WEB——<https://za-koenji.jp/>

◆前売券は、全ての取扱場所、上映前日までの販売となります。

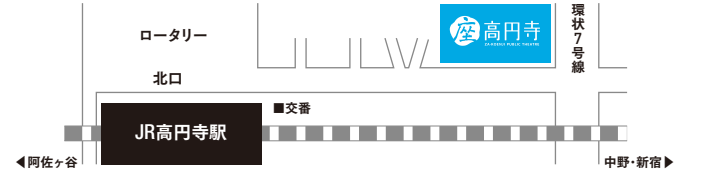
◆前売券が完売した場合、当日券の販売はございません。

◆お客様都合による前売り券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

会場 | 座・高円寺2

〒166-0002 杉並区高円寺北2-1-2 地下2階

TEL:03-3223-7500 | HP:<https://za-koenji.jp/>



会場へのアクセス | JR中央線「高円寺」駅北口徒歩5分

土、祝日の中央線快速は高円寺駅に停車しませんのでご注意ください。

映画・テレビの枠を超えた

ドキュメンタリー映像の祭典

開催期間／2023年

2月8日水 12日日

zkdf.net

特集◆“教育”について 2.9 本 11:00 | 上映

北のともしび ノイエンガム強制収容所とプレンプラー・ダムの子どもたち

監督:東志津 2022年|108分|カラー

第二次世界大戦末期、ドイツ・ハンブルク郊外にある強制収容所で、20人のユダヤ人の子どもたちがナチスの人体実験に供され犠牲となった。この事実をどう受け止め、語り継ぐことができるのか。殺された少年少女ひとりひとりの肖像や、記念館となった現在行われている継承への取り組みを、カメラは静かにみつめてゆく。



12:50—トーク
ゲスト 東志津 本作監督
伊勢真一 ドキュメンタリー映像作家

特集◆“教育”について 2.9 本 13:50 | 上映

ニジノキセキ —「4.24」の未来へ、七色の架け橋—

監督:朴英二、金功哲 2019年|80分|カラー

ヘイトスピーチやバッシングの的となり、行政の支援が減るなど取り巻く環境が年々厳しくなっている朝鮮学校にカメラが入る。学生の日常や教師の声から彼らの率直な思いを探るほか、1948年GHQの朝鮮学校閉鎖令に反発し起きた「4.24 阪神教育闘争」にも触れ、在日コリアン民族教育の過去、現在、未来を見据える。



15:10—トーク
ゲスト 趙寿来 本作プロデューサー

特集◆Yahoo! 短編ドキュメンタリー選 2.10 金 11:00 | 上映

FULL SWING 理想の世界
監督:山田裕一郎 2021年|11分|カラー
監督:杉岡太樹 2022年|11分|カラー

短編ドキュメンタリーの配信フォーム「Yahoo! JAPAN CREATORS Program」よりセレクトされた作品を上映。難病を持つ少女の両親の葛藤や、車椅子でスポーツに励む少年の挑戦などを描く「DOCS for SDGs」の作品群から、SDGs(持続可能な開発)の時代に呼応した「心を動かすドキュメンタリー」による社会課題の解決を考える。



11:50—トーク
ゲスト 山田裕一郎 本作監督 | 杉岡太樹 本作監督
Yahoe! JAPAN CREATORS Program
金川雄策 短編ドキュメンタリー部門責任者

特集◆“教育”について 2.10 金 13:00 | 上映

教育と愛国

監督:齊加尚代 2022年|107分|カラー

教育基本法への「愛国心」条項の盛り込みや「道徳」の教科化など、教育と政治の距離が近づくなか、学校では今、何が起きているのか。2017年に制作されたテレビ版に新たな取材を加え、慰安婦問題を記述した教科書を使う学校への圧力や保守系教科書執筆者の本音など、様々な実相を引き出しながら、最新の教育事情に迫る。



14:50—トーク
ゲスト 齊加尚代 本作監督

特集◆“教育”について 2.11 土 11:00 | 上映

夢みる小学校

監督:オオタヴィン 2021年|91分|カラー

子どもの自己決定や個性、体験学習を尊重する「きのくに子どもの村学園」が運営する山梨県の小学校に密着、宿題やテストのない世界で「プロジェクト」に取り組む子どもたちの姿を追う。発達障害への言及や、同種の教育を試みる公立学校にも取材を行い、「子どもファースト」な教育のあり方を模索する。



12:35—トーク
ゲスト オオタヴィン 本作監督

敗戦後GHQの指導の下、真新しい教科書で始まった戦後民主教育から既に70年が経ち「教育」の姿も時代と共に変貌している。多くのドキュメンタリー作家は“教育”に深い眼差しを向けて来た。そうした作品を考えながら、同時にドキュメンタリー作品そのものが“教育”という特性を本来持っているのかもしれないと思う。今回のロシアのウクライナ侵攻という信じられない事態をうけ、日本も世界も、平和への考え方が揺らぎはじめている。こういう時こそ「教育」について、改めて考える必要があるのではないか。——山崎 裕(プログラムディレクター)

特集◆“教育”について 2.11 土 13:40 | 上映

ラ・カチャダ

監督:マレン・ピニャヨ 2019年|81分|カラー|エルサルバドル

エルサルバドルの露店で生計を立てる5人のシングルマザーが、劇団「ラ・カチャダ」を立ち上げ、実体験を基にした演劇に挑戦する。だがそれは、虐待や性被害といった暴力の連鎖の中で、彼女たちが無意識に負った心の傷と向きあう作業でもあった。陽気に振る舞いながらも、トラウマを乗り越えようとする女性たちの奮闘を描く。



15:05—トーク
ゲスト 風吹ジュン 女優
山崎裕 本プログラムディレクター

特集◆“教育”について 2.11 土 16:00 | 上映

スープとイデオロギー

監督:ヤン ヨンヒ 2021年|118分|カラー|韓国・日本

自身の家族と北朝鮮の関係を描いてきたヤン ヨンヒの最新作。父の死後も「帰国事業」で北に渡った兄たちに仕送りを続ける母だったが、ある日突然、若い頃に遭遇した「済州4・3事件」の壮絶な体験を語り始める。病気で記憶の薄れゆく母を、ヨンヒは済州島に連れていくことを決意。本当の母の思いを知る旅が始まる。



18:00—トーク
ゲスト ヤン ヨンヒ 本作監督
荒井カオル 本作エグゼクティブプロデューサー

特集◆“教育”について 2.12 日 10:00 | 上映

私だけ聴こえる

監督:松井至 2022年|76分|カラー

アメリカの、コーダ(CODA)と呼ばれる、耳の聴こえない親から生まれた耳の聞こえる子どもたち。ろう者の世界も聴者の世界も、どこか居心地が悪い彼女たちにとって、年に一度仲間と集う“CODAサマーキャンプ”だけが、唯一自分を解放できる場所だ。やがて成長し、人生の岐路を迎える中で生じる葛藤。揺れる心にカメラが添う。



11:20—トーク
ゲスト 松井至 本作監督
手話通訳付き

特集◆“教育”について 2.12 日 12:30 | 上映

音の行方

監督:野田亮 2022年|107分|カラー

知的な障害のある人と、即興を得意とする音楽家によるアーティスト集団「音遊びの会」。2005年に神戸で結成され、即興演奏を通して音楽や福祉のあり方を問いながら、17年間、国内外でワークショップやコンサートを重ねてきた。演奏や活動風景、メンバーの声で知る、彼らの表現とは？上映後はミニライブを予定。



14:20—トーク
ゲスト 野田亮 本作監督 | 大友良英 音楽家
※上映後、本作出演者による演奏あり

特集◆“教育”について 2.12 日 15:30 | 上映

へい! ティーチャーズ!

監督:コリア・ヴィシュネヴェッツ 2020年|90分|カラー

ロシアの地方都市にある学校に、モスクワから二人の新米教師が赴任する。理想を掲げ、体当たりで生徒に接するが、話を聞かず勝手な発言を繰り返す子どもたちに困惑するばかり。校長の方針や山積する仕事など、様々な軋轢に苦悩する二人の運命は？ 学生たちと教師の軽妙なやりとりから、ロシアの“現在”が見えてくる。



17:00—トーク
ゲスト コリア・ヴィシュネヴェッツ 本作監督 オンライン参加
長野野子 キャスター・ジャーナリスト

ゲスト◆セレクション

オープニング上映 2.8 水 19:15 | 上映
★無料参考上映(上映後トーク有料)
—入れ替え—
20:20—トーク
ゲスト 是枝裕和 本作ディレクター

NONFIX もうひとつの教育～伊那小学校春組の記録～
ディレクター:是枝裕和 1991年|47分|カラー|フジテレビ
教科書を使わない総合学習に長年取り組む長野県の伊那小学校。3年春組の子どもたちは、仔牛のローラを飼うことを選び、エサ代やいのちの問題など、様々な学びを得ることに。ローラが持ち主に帰るまでの3年間の子どもたちの成長を、是枝自身が通い、ホームビデオで記録した、応援歌のような作品。



安田葉津紀 2.9 本 16:15 | 上映
18:00—トーク
ゲスト 安田葉津紀 フォトジャーナリスト
日向史有 本作監督

東京クルド 監督:日向史有 2021年|103分|カラー
小学生のころ迫害を逃れ日本へやってきたクルド人の青年オザンとラマザン。「仮放免許可書」を持つものの、立場は非正規滞在者で、社会の無理解もあり、生活には様々な制約が課されている。入管収容への不安を感じながらも、進路に悩み、もがくふたりの青春を描きながら、この国の差別的な構造を浮き彫りにする。



諏訪敦彦 2.9 本 19:00 | 上映
20:50—トーク
ゲスト 諏訪敦彦 映画監督
章夢奇 本作監督 オンライン参加
秋山珠子 進行・通訳



自画像:47KMのおとぎ話

監督:章夢奇(ジャン・モンチー) 2021年|109分|カラー|中国

中国山間部の小さな村で暮らしながら記録を続けるジャン・モンチーのシリーズ最新作。撮影を開始して10年目、村には子供たちの希望を汲んだ「青い家」が建てられようとしていた。その家に集う、これまで被写体だった少女たちが、カメラを回し村の姿を記録し始める。監督と共に「イマジン」を歌いながら…。

金平茂紀 2.10 金 16:00 | 上映
17:40—トーク
ゲスト 金平茂紀 ジャーナリスト



ナワリヌイ

監督:ダニエル・ロアー 2022年|98分|カラー|アメリカ

ロシア反体制派のカリスマ政治活動家、アレクセイ・ナワリヌイに密着したドキュメンタリー。プーチン批判の急先鋒となったが、2020年8月、毒物により航空機内で突然、意識不明の重体に陥る。危うく一命を取り留めた彼は、協力者らと共に自ら調査チームを結成。自分に毒を盛ったのは誰かを驚愕の方法で暴いていく。



森達也 2.10 金 18:50 | 上映
20:30—トーク
ゲスト 森達也 映画監督、作家

Blue Island 憂鬱之島
監督:陳梓桓(チャン・ジューン) 2022年|97分|カラー|香港・日本
民主化運動とその弾圧に揺れる香港。文化大革命や天安門事件をはじめ、激動の歴史の中で抵抗し、生き延びてきた人々は過去にも存在していた。現在も香港で暮らしている三人の人物に光を当て、証言と再現ドラマを巧みに融合させながら、「香港人」のアイデンティティとは何かを、若き監督が問う。



柄本佑 2.11 土 19:15 | 上映
20:50—トーク
ゲスト 柄本佑 俳優
山崎裕 本プログラムディレクター

まひるのほし 監督:佐藤真 1998年|93分|カラー
女性の水着に執着する「シゲちゃん」をはじめ、個性豊かな作品を制作する7人の知的障害を持つアーティストを追う。創作風景だけでなく、作業所職員との会話や日常生活など、彼らのさまざまな断片にカメラを向け、アートとは何か、創作とは何かの根源に迫ろうとする故・佐藤真の視線が印象的な一本。



大島新 2.12 日 18:10 | 上映
19:50—トーク
ゲスト 大島新 ドキュメンタリー監督
原一男 本作監督



極私的エロス・恋歌1974

監督:原一男 1974年|98分|モノクロ

子どもを連れて去ったかつての同棲相手・武田美由紀を追って沖縄へと飛んだ原一男。女性と同棲し、コザで米兵相手の商売をする武田は、やがて黒人米兵の子を身篋り、「自力出産をするから撮って欲しい」と原に告げる。70年代という時代を体当たりで生きる女性の生きざまを記録した、元祖・セルフドキュメンタリー。

第14回「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル
コンペティション部門入賞作品上映
映画・テレビ・自主制作——新しい才能を全国から発掘!
2.8 水
10:30—入賞作品上映
18:15—入賞作品・大賞表彰式・閉会式
18:45—終了予定
【審査員(予定・敬称略)】
佐藤信(劇作家・演出家・「座・高円寺」芸術監督)／橋本佳子(映像プロデューサー)
足立正生(映画監督)／大島新(ドキュメンタリー監督)／林加奈子(元 映画祭ディレクター)